

陸上の霸王磐炭二度 福島高商軍を粉砕か

あす金坂グラウンドで大接戦を展開 豫想さるる對抗競技の壯觀

縣下學生界、實業界の兩ナ
ムパワン福島高商對磐炭
の第三回對抗陸上競技會は
陸上の如く明二十八日に迫
り少からず地方フアンに血
を沸かした居るが、磐
炭は第一回五八對三四、第
二回四五對二九で共に大勝
して居り、且つ最近益々好
調を傳へられて居る處から
今回も勝味充分と觀られて
居るが同軍は得點にこだは
らず専ら記録の刷新に努め
る筈で名だたる強豪を網羅
しての該大會はコンディシ
ョン如何により相當期待し
得るであらうと

佳き日の争覇 明治節を卜して

平青年團主催分團對抗陸上競技會

平青年團主催分團對抗陸上競技會の結果總監督を四倉町
競走は既報の如く來月三日
明治節の佳日を卜して午後二
時より平青年團を基として
行はれるが各分團五名四縣
でコースは大休昨年と同様
であるが幾か變更あり左の
如く決定した、尙申込みは
一昨二十五日に拘らず二
十七日に至るも申込み一
もないが各町の張り込み
に因兵分列式、講評等あつ
て解散する豫定である

前借て紛糾

女給の交渉へらる

平町高麗橋工事完成を告
げ本日茲に竣工式を挙
ぐるに方り多数來賓諸
賢の貴臨を蒙り且猪狩
家三御夫婦の初渡橋を煩
はしますこと最も欣幸
とし感謝の堪へる所
ありませぬ。是迄の高麗橋
は大正十一年の架設に係
る木橋でありましたので
年を経るに従ひ風雨に曝
され腐蝕甚しく通行危険
に瀕しこれを改築を希望
農會當局と協議したが昨
二日山田村の四百九十
地元區より屢々促進陳情
書を呈し昨百五十箱、年
の總出廻りは六、七千箱
易に之れを許さず、己む
判するの近く取極め第一

幽境川前附近

山口彌一郎

淡谷美をつくる要素
仲よく分れて行くのである
或る日夏井川の源を訪ね
たと言ふよりも探したと言
つた方が適當であらう。神
候附近の水はまだ夏井川
に注ぐと見てゆくと次の
大越郷では既に西に流れて
ゐる。歩いて探しても見
えぬ原因となる。五味澤
の源の水が山下谷の一軒
足らずで八〇我々は模型
を製作してその

郡下大演習

九月八日

郡下四十九團訓練所生徒約
千五百名を總動員して警
備隊大演習がハンマーの雄
として活躍して居る三浦を
はじめ警備隊出身の自衛隊
高商隊に對しては如何と
も策のほどし様がある
まい。砲丸では川又が過
般の縣選手權大會に一〇三
聯合會係員が現地視察を

あす高麗橋竣工式

各種餘興に大賑ひか

平町高麗橋工事完成を告
げ本日茲に竣工式を挙
ぐるに方り多数來賓諸
賢の貴臨を蒙り且猪狩
家三御夫婦の初渡橋を煩
はしますこと最も欣幸
とし感謝の堪へる所
ありませぬ。是迄の高麗橋
は大正十一年の架設に係
る木橋でありましたので
年を経るに従ひ風雨に曝
され腐蝕甚しく通行危険
に瀕しこれを改築を希望
農會當局と協議したが昨
二日山田村の四百九十
地元區より屢々促進陳情
書を呈し昨百五十箱、年
の總出廻りは六、七千箱
易に之れを許さず、己む
判するの近く取極め第一

恍然忘我の境に

聽者を酔はす

獨の作曲家ベトローフ
ン作曲(作品二七)の二
は短調。一、八〇一年完
成。ジュリエッタ。ギン
ナルチー伯爵夫人に捧げ
たもの。ソナタ形式に幻
想曲風を加へ、第一樂章
アグデオ(自棄の歌)第二
樂章アレグレット(別稱
之助)は去る二十四日
アグデオ(自棄の歌)第二
樂章アレグレット(別稱
之助)は去る二十四日
アグデオ(自棄の歌)第二
樂章アレグレット(別稱
之助)は去る二十四日

蜂屋柿出廻り

東京送りを計劃

地方果實界の王座を
争つて居る蜂屋柿は昨今
が、相場は過激な風水害
に大正十一年の架設に係
る木橋でありましたので
年を経るに従ひ風雨に曝
され腐蝕甚しく通行危険
に瀕しこれを改築を希望
農會當局と協議したが昨
二日山田村の四百九十
地元區より屢々促進陳情
書を呈し昨百五十箱、年
の總出廻りは六、七千箱
易に之れを許さず、己む
判するの近く取極め第一

紙幣を見て邪心

兒童の拾得を嘆と欺き

昨報一家七名入り亂れて
の醜惡な血の闘争を惹起し
た高久村大字下高久字前
内一二七番前村一犯が前
吉七五の長男定彌(五)前
四犯房吉(四)の兩名は一昨
二十五日午後六時拘引状を
保りて嚴重な取調を受け
たが直ちに傷害罪で起訴さ
れ近く平區に於て關口判事
保りて公判開廷される事に
なつた

借衣を横領

女野郎屋の了不簡

平町高麗橋工事完成を告
げ本日茲に竣工式を挙
ぐるに方り多数來賓諸
賢の貴臨を蒙り且猪狩
家三御夫婦の初渡橋を煩
はしますこと最も欣幸
とし感謝の堪へる所
ありませぬ。是迄の高麗橋
は大正十一年の架設に係
る木橋でありましたので
年を経るに従ひ風雨に曝
され腐蝕甚しく通行危険
に瀕しこれを改築を希望
農會當局と協議したが昨
二日山田村の四百九十
地元區より屢々促進陳情
書を呈し昨百五十箱、年
の總出廻りは六、七千箱
易に之れを許さず、己む
判するの近く取極め第一

帳簿上をつくらふ

首魁宮内氏等に追窮厳

平町高麗橋工事完成を告
げ本日茲に竣工式を挙
ぐるに方り多数來賓諸
賢の貴臨を蒙り且猪狩
家三御夫婦の初渡橋を煩
はしますこと最も欣幸
とし感謝の堪へる所
ありませぬ。是迄の高麗橋
は大正十一年の架設に係
る木橋でありましたので
年を経るに従ひ風雨に曝
され腐蝕甚しく通行危険
に瀕しこれを改築を希望
農會當局と協議したが昨
二日山田村の四百九十
地元區より屢々促進陳情
書を呈し昨百五十箱、年
の總出廻りは六、七千箱
易に之れを許さず、己む
判するの近く取極め第一

借衣を横領

女野郎屋の了不簡

平町高麗橋工事完成を告
げ本日茲に竣工式を挙
ぐるに方り多数來賓諸
賢の貴臨を蒙り且猪狩
家三御夫婦の初渡橋を煩
はしますこと最も欣幸
とし感謝の堪へる所
ありませぬ。是迄の高麗橋
は大正十一年の架設に係
る木橋でありましたので
年を経るに従ひ風雨に曝
され腐蝕甚しく通行危険
に瀕しこれを改築を希望
農會當局と協議したが昨
二日山田村の四百九十
地元區より屢々促進陳情
書を呈し昨百五十箱、年
の總出廻りは六、七千箱
易に之れを許さず、己む
判するの近く取極め第一

骨肉相食む亂闘

兄と弟起訴さる

昨報一家七名入り亂れて
の醜惡な血の闘争を惹起し
た高久村大字下高久字前
内一二七番前村一犯が前
吉七五の長男定彌(五)前
四犯房吉(四)の兩名は一昨
二十五日午後六時拘引状を
保りて嚴重な取調を受け
たが直ちに傷害罪で起訴さ
れ近く平區に於て關口判事
保りて公判開廷される事に
なつた

借衣を横領

女野郎屋の了不簡

平町高麗橋工事完成を告
げ本日茲に竣工式を挙
ぐるに方り多数來賓諸
賢の貴臨を蒙り且猪狩
家三御夫婦の初渡橋を煩
はしますこと最も欣幸
とし感謝の堪へる所
ありませぬ。是迄の高麗橋
は大正十一年の架設に係
る木橋でありましたので
年を経るに従ひ風雨に曝
され腐蝕甚しく通行危険
に瀕しこれを改築を希望
農會當局と協議したが昨
二日山田村の四百九十
地元區より屢々促進陳情
書を呈し昨百五十箱、年
の總出廻りは六、七千箱
易に之れを許さず、己む
判するの近く取極め第一

借衣を横領

女野郎屋の了不簡

平町高麗橋工事完成を告
げ本日茲に竣工式を挙
ぐるに方り多数來賓諸
賢の貴臨を蒙り且猪狩
家三御夫婦の初渡橋を煩
はしますこと最も欣幸
とし感謝の堪へる所
ありませぬ。是迄の高麗橋
は大正十一年の架設に係
る木橋でありましたので
年を経るに従ひ風雨に曝
され腐蝕甚しく通行危険
に瀕しこれを改築を希望
農會當局と協議したが昨
二日山田村の四百九十
地元區より屢々促進陳情
書を呈し昨百五十箱、年
の總出廻りは六、七千箱
易に之れを許さず、己む
判するの近く取極め第一

二十九日	日出五、五九	月出後一〇、〇四
	日没四、五〇	月没前二、五七
	満潮前二、四〇	千潮後二、四〇
	満潮後七、五〇	千潮後二、四〇

九月二十日	日出五、五九	月出後一〇、〇四
	日没四、五〇	月没前二、五七
	満潮前二、四〇	千潮後二、四〇
	満潮後七、五〇	千潮後二、四〇

九月二十日	日出五、五九	月出後一〇、〇四
	日没四、五〇	月没前二、五七
	満潮前二、四〇	千潮後二、四〇
	満潮後七、五〇	千潮後二、四〇

九月二十日	日出五、五九	月出後一〇、〇四
	日没四、五〇	月没前二、五七
	満潮前二、四〇	千潮後二、四〇
	満潮後七、五〇	千潮後二、四〇

九月二十日	日出五、五九	月出後一〇、〇四
	日没四、五〇	月没前二、五七
	満潮前二、四〇	千潮後二、四〇
	満潮後七、五〇	千潮後二、四〇

九月二十日	日出五、五九	月出後一〇、〇四
	日没四、五〇	月没前二、五七
	満潮前二、四〇	千潮後二、四〇
	満潮後七、五〇	千潮後二、四〇

九月二十日	日出五、五九	月出後一〇、〇四
	日没四、五〇	月没前二、五七
	満潮前二、四〇	千潮後二、四〇
	満潮後七、五〇	千潮後二、四〇

品質第一
電話二六八番
平牛乳舎
平町・九品寺前

更生の肥料
御撰製が必要
昭和産業合資會社
電話一八番

骨肉相食む亂闘
兄と弟起訴さる
近く平區で公判開廷

借衣を横領
女野郎屋の了不簡

借衣を横領
女野郎屋の了不簡

借衣を横領
女野郎屋の了不簡

借衣を横領
女野郎屋の了不簡

借衣を横領
女野郎屋の了不簡